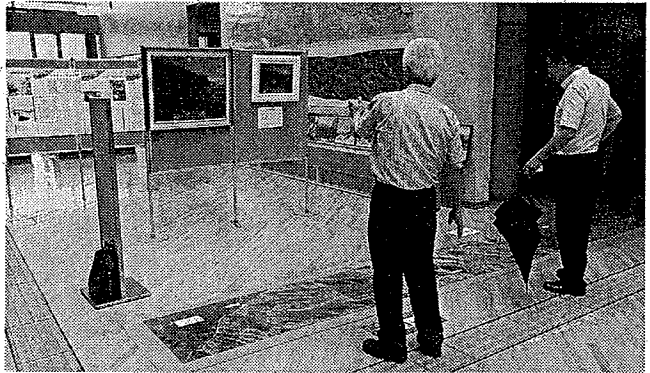


2010年(平成22年)7月15日(木曜日)

道北・空知

## 増毛山道の歴史を後世に NPO法人と留萌振興局 留萌合同庁舎でパネル展



床に展示された大型航空写真が山道復元へのロマンをかきたてる

査研究と、地権者と交渉して一部の復元を進めている。しかし、全長約32キロの復元には多くの労力と時間を要するため、ことし2月にNPO法人化し、活動を本格化した。

その一環として企画した今回のパネル展では、ホール床と壁にルート全体を示す大型航空写真をはじめ、パソコンの画面上で偏光めがねを使って立体的に見ることのできる概要図、山道に関する戦前の記事や踏査・復元作業の写真などを紹介。

小杉会長はNPO法人の理事も務め「増毛山道をより多くの人に知ってもらい、この地域における先人たちの生活や苦勞などへの理解を深めてほしい」と呼び掛けている。

増毛山道の会では正会員、賛助会員を募集している。詳しくは同会事務局、電話0164(56)0003またはホームページアドレス(<http://www.kosugi-sp.jp/sando/top.html>)まで。(留萌)

かつて石狩と留萌を結ぶ交通ルートとして存在した増毛山道を観光資源に。NPO法人増毛山道の会(伊達東会長)と留萌振興局は、留萌合同庁舎1階道民ホールでパネル展を開催中だ。あす16日まで。

幕末に場所請負人が私費で開削して以来150年余り。交通

網の整備が進み、増毛山道はすでに廃道となつて現在はささやぶの中に埋もれてしまった。山道の歴史を後世に語り伝え、復元して観光資源に活用しようとして、2008年12月に留萌調査設計協会の小杉忠利会長ら有志が増毛山道の会を結成。歴史や文化、自然などの調